

### 3 地域別構想

#### 西北部ゾーン(地域V・VI・VII)

西部及び北部に位置し、大阪都市圏の住宅都市として開発されたゾーン

- ・多様な世代の居住や高齢化社会に対応した計画的な土地利用、地域住民とともに展開する新たなまちづくり、暮らしの利便性向上を図る
- ・地域拠点となる駅周辺の都市機能の充実、総合的な交通体系の構築を図る。



#### 中部ゾーン(地域II・III・IV)

本市の中心部に位置し、奈良のアイデンティティの中心、都市機能の中核、観光交流機能の玄関口という役割を担うゾーン

- ・この魅力の根幹となる古代から中世・近世の歴史・文化や自然環境を保全・活用する
- ・歴史・文化や自然環境に配慮した土地利用、都市施設の整備を行い、暮らしの利便性向上を図る
- ・都市機能や交通のターミナル機能の充実、総合的な交通体系の構築を図る





### 東部ゾーン(地域I・VIII・IX)

東部の山間地域に位置し、都市計画区域外または市街化調整区域に属するゾーン

- ・自然共生型の土地利用を基本としつつ、地域発展に寄与する開発などを計画的に誘導し、高齢化社会にも対応した生活環境を創出する
- ・自然環境など地域の魅力を保全・活用し、都市部との交流により地域の活力を伸展する
- ・道路整備だけでなく、公共交通のあり方も含めた総合的な交通体系を構築し、奈良市中心部や周辺都市への交通利便性を向上する

# ③-① 東部地域(地域I)

## 1 地域づくりのテーマ

### ～文化・交流が豊かな里～

豊かな自然と歴史・文化を保全・活用しつつ、生活関連機能の充実や計画的な道路整備、農林業の活性化などを図ることにより、豊かな自然や歴史・文化と共生した、交流が盛んな里づくりを展開します。

## 2 地域づくりの目標

### 1 快適で利便性のある暮らし

生活拠点を維持しつつ、快適で利便性のある暮らしを目指した土地利用を進めています。

### 2 交通ネットワークの充実

広域及び地域間(中心部、月ヶ瀬・都祁)の連携強化、生活道路の改善など、交通ネットワークの充実を図ります。

### 3 豊かな自然の保全と活用

豊かな自然を保全するとともに、これらを活かした地域づくりを進めています。

### 4 自然と田園風景を活かした里づくり

農林業を地域資源として、活力ある地域づくりを進めています。

### 5 歴史・文化が息づく里づくり

歴史・文化遺産を保全・活用しつつ、交流機能の強化を図ります。

### 6 安全・安心・快適な里づくり

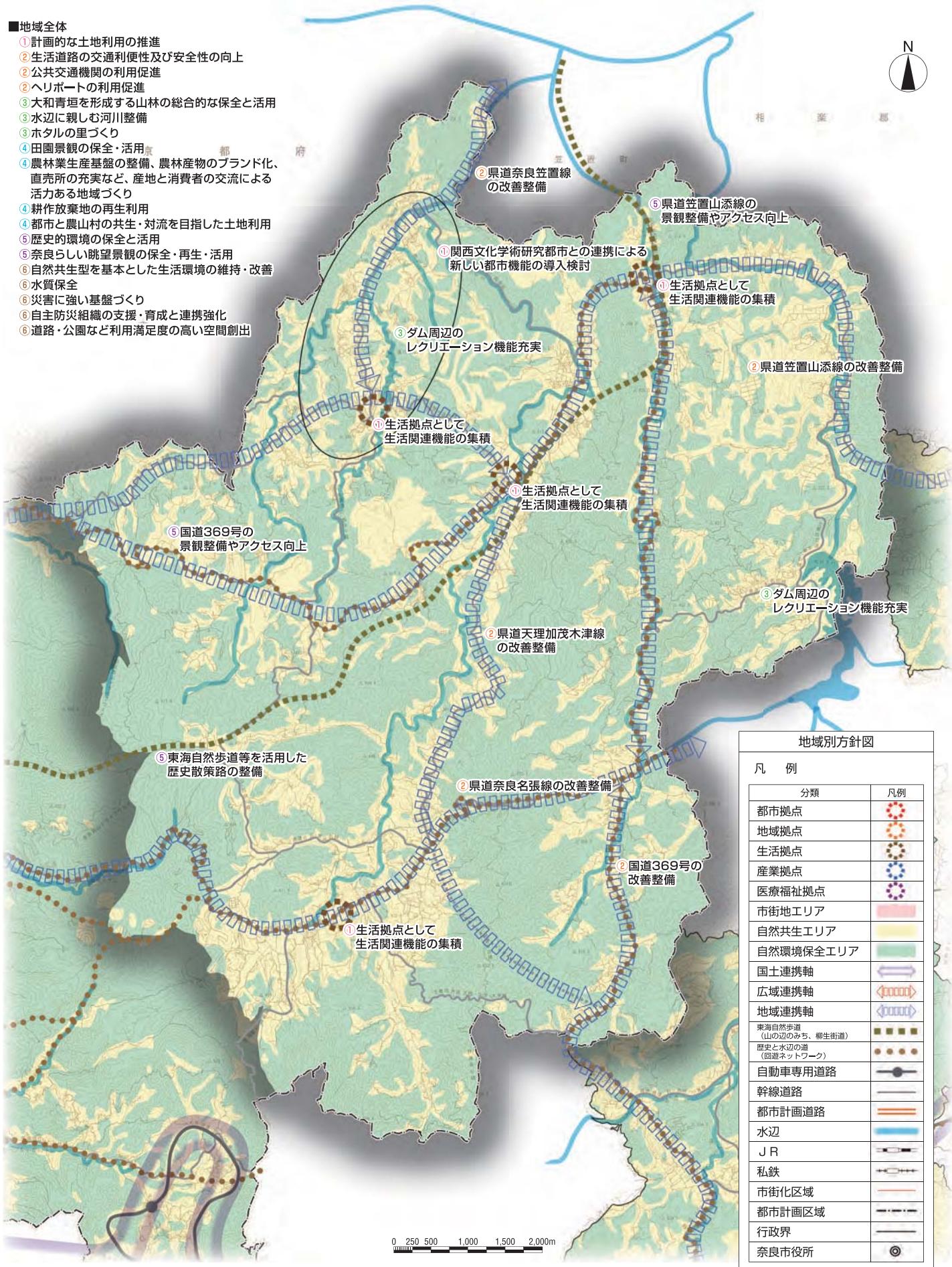
安全・安心・快適な生活環境を地域住民とともに創出しています。



## ■方針図 東部地域

### ■地域全体

- ①計画的な土地利用の推進
- ②生活道路の交通利便性及び安全性の向上
- ③公共交通機関の利用促進
- ④ヘリポートの利用促進
- ⑤大和青垣を形成する山林の総合的な保全と活用
- ⑥水辺に親しむ河川整備
- ⑦ホタルの里づくり
- ⑧田園景観の保全・活用
- ⑨農林業生産基盤の整備、農林産物のブランド化、直売所の充実など、産地と消費者の交流による活力ある地域づくり
- ⑩耕作放棄地の再生利用
- ⑪都市と農山村の共生・対流を目指した土地利用
- ⑫歴史的環境の保全と活用
- ⑬奈良らしい眺望景観の保全・再生・活用
- ⑭自然共生型を基本とした生活環境の維持・改善
- ⑮水質保全
- ⑯災害に強い基盤づくり
- ⑰自主防災組織の支援・育成と連携強化
- ⑲道路・公園など利用満足度の高い空間創出



## 3-② 中央市街地地域（地域Ⅱ）

### 1 地域づくりのテーマ

～歴史・文化都心として居心地の良さが際立つまち～

1300年にわたって継承されてきた歴史・文化・伝統や豊かな自然を基盤とし、生活利便性を高めることで居心地が良く、住み続けたいまちづくりを展開するとともに、奈良らしい観光産業の育成や交流基盤の整備により、国内外の人々が訪れ、居心地の良さを体感し、滞在する国際文化観光都市の中核としてのまちづくりを展開します。

### 2 地域づくりの目標

#### 1 国際文化観光都市・奈良の魅力の向上

市及び県の中心として都市機能の充実を図り、拠点性を高めるとともに、交流の玄関口として、魅力の向上を図ります。また、高齢者にも配慮した、利便性の高い地域づくりを進めていきます。

#### 2 歴史・文化を活かしたまちづくり

歴史・文化遺産や歴史的街並みを保全するとともに、これらの魅力を観光資源として活用し、本市の発展へと繋げていきます。一方で、これら歴史的街並みを保全しつつ、地域の安全を確保します。

#### 3 美しい街並みと良好な生活環境の育成

地域特性に応じた美しい街並みや生活環境の維持・改善を図ります。

#### 4 安全で快適な交通体系の創出

暮らしや交流の観点から、本市の利便性を高めるため、道路の整備や公共交通網の充実、多様な歩行者・自転車に配慮した道路環境整備など、総合的な交通体系の充実を図ります。

#### 5 自然と歴史が織りなす緑に囲まれたまちづくり

歴史・文化遺産と融合した豊かな自然を保全・活用するとともに、市街地の緑化を推進し、緑豊かな市街地の形成を図ります。

#### 6 市街地におけるうるおい空間の創出

河川やため池の治水・利水を図りつつ、緑と水のネットワークの形成、水辺環境の回復・保全を図ります。



## ■方針図 中央市街地地域



# ③-③ 南部地域(地域Ⅲ)

## 1 地域づくりのテーマ

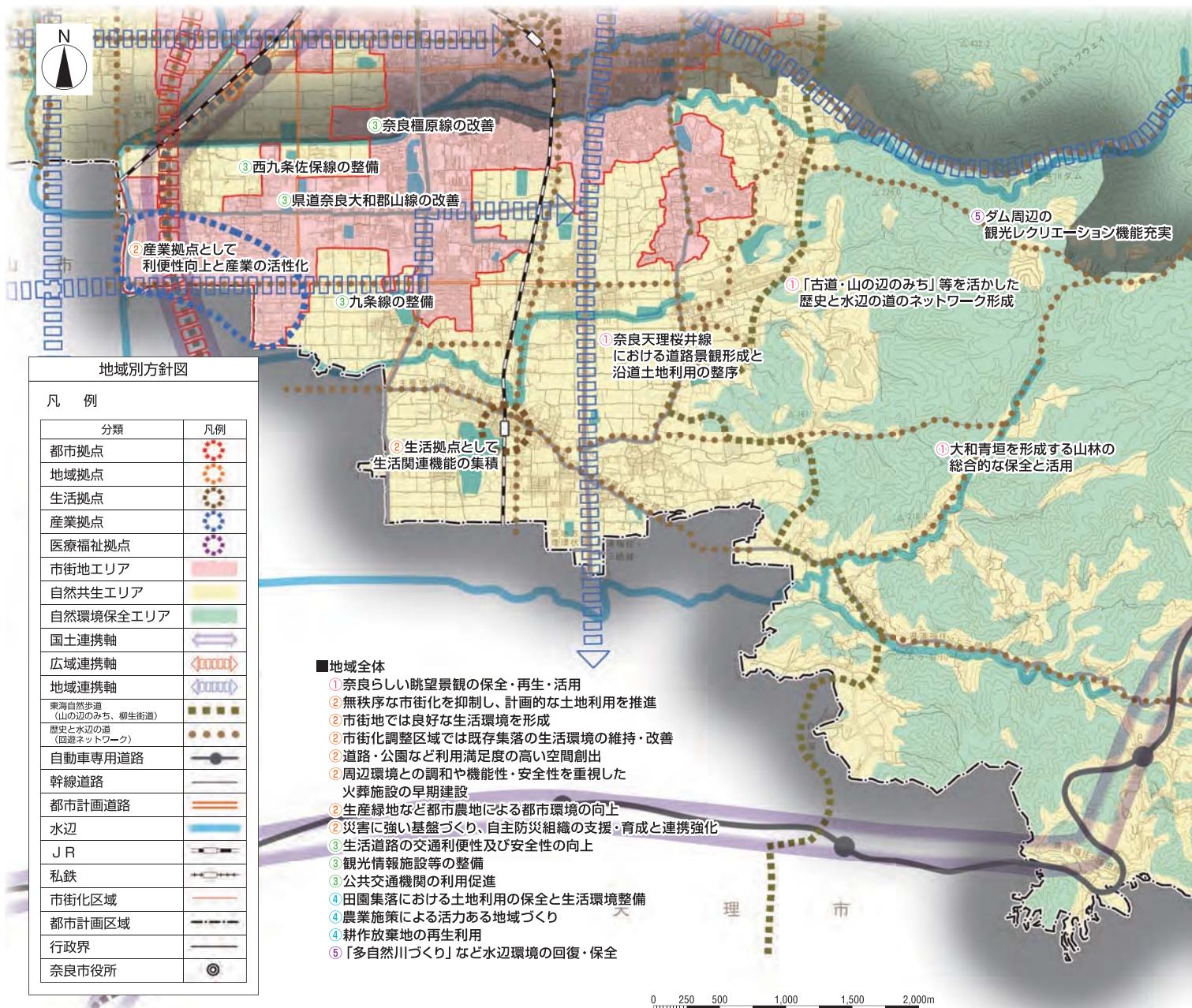
### ～緑薫る「山の辺」の活力あるまち～

豊かな自然や歴史・文化遺産、「山の辺」の景観や田園風景を活かしつつ、住宅地の生活環境や農業・工業の生産基盤を充実し、人々の心意気を大切にした、緑薫る活力あるまちづくりを展開します。

## 2 地域づくりの目標

### 1 「山の辺」の自然環境や歴史・文化を活かした魅力づくり

豊かな自然や歴史・文化を守り、次代へ継承するとともに、「古道・山の辺のみち」を中心とした地域の魅力づくりを図ります。



## 2 快適な暮らしの基盤づくり

快適で安全・安心な暮らしを目指して、地域住民とともに、計画的な土地利用や生活環境の維持・改善を図ります。

## 3 交通ネットワークの充実

東西及び市中心部へのアクセス性向上、生活道路の改善、公共交通網の充実など、交通利便性を高めます。

## 4 自然と田園環境を守り活かす

本地域の農地が有する多様な役割を踏まえ、農業振興と連携した活力ある地域づくりを進めていきます。

## 5 水辺環境を守り育てる

河川やため池の治水・利水を図りつつ、水辺環境を守り、育て、活用します。



■方針図 南部地域